

島根県初記録となるウスヒラタゴキブリ (ゴキブリ目チャバネゴキブリ科) について

皆木 宏明*

First Reported Occurrence of *Onychostylus pallidiolus pallidiolus* (Shiraki) in Shimane Prefecture

Kohmei Minagi

島根県のゴキブリ目はこれまでに7種（オオゴキブリ *Panesthia angustipennis spadica*, クロゴキブリ *Periplaneta fuliginosa*, ヤマトゴキブリ *P. japonica*, キヨウトゴキブリ *Asiablatta kyotensis*, チャバネゴキブリ *Blattella germanica*, モリチャバネゴキブリ *B. nipponica*, ツチゴキブリ *Margattea kumamotonis kumamotonis*）が確認されている（松田, 2011）。今回、新たにウスヒラタゴキブリ *Onychostylus pallidiolus pallidiolus*（図1, 2）の生息を確認したので報告する。

ウスヒラタゴキブリはチャバネゴキブリ科に属する森林性の小型ゴキブリ類である。本種は南方系の種類とされ、国内では南西諸島を中心に九州、本州の太平洋側では沿岸にそって千葉県まで記録がある（朝比奈, 1965, 1991）。



図1 ウスヒラタゴキブリ(背面)

本種はオス、メスとともに体長9-12mmと小型の種類で、体色は全体淡褐色のゴキブリである。全国的に広く分布するチャバネゴキブリとは胸部に黒色の紋様がないこと、島根県東部の宍道湖・中海周辺で記録されているツチゴキブリとは腹部周縁に黒色紋がある、尾毛が細く長い点で区別できる（朝比奈, 1991）。本種の生息環境は、九州での報告によるとマテバシイ林やアラカシ林のような常緑広葉樹林とされ、もっぱら樹上で生活し、日中は広葉樹の葉の隙間に潜んでいる種類である（菊屋, 1991）。

本種の確認場所は、島根県江津市波子町にある島根県立石見海浜公園の大崎鼻地区である（図3）。同公園には2015年8月から9月の間に4回訪れ、いずれも駐車場付近で確認した。複数個体見つかることもあり、常緑広葉樹林もあることから、公園内には一定数生息

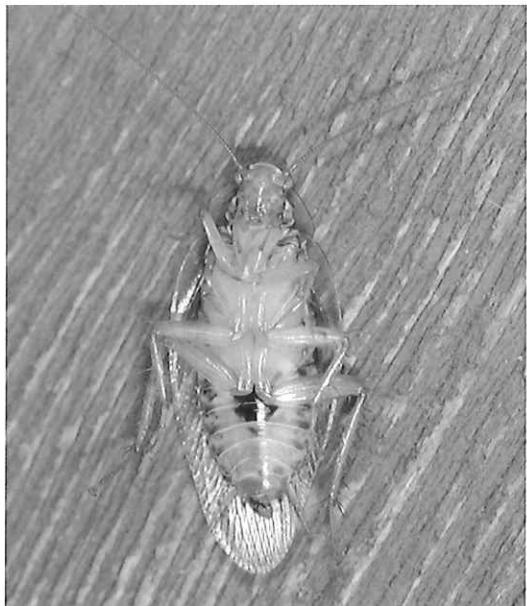


図2 ウスヒラタゴキブリ(腹面)

* 島根県立三瓶自然館, 〒 694-0003 島根県大田市三瓶町多根 1121-8

The Shimane Nature Museum of Mt. Sanbe (Sahimel), 1121-8 Tane, Sanbe-cho, Ohda, Shimane, 694-0003, Japan



図3 確認地点

しているものと思われる。なお、確認した個体はすべて採集、標本化し、島根県立三瓶自然館にて収蔵している。

なお、過去に島根県東部の斐伊川水系で記録されているウスヒラタゴキブリ（建設省、1994）は、後にツチゴキブリの誤同定と報告されており（松田、2011），本報告が島根県初記録となる。

採集記録

島根県江津市波子町
島根県立石見海浜公園大崎鼻地区

いずれも筆者採集

2015. VIII. 18 2exs.

2015. VIII. 21 1ex.

2015. IX. 5 5exs.

2015. IX. 9 1ex.

引用文献

朝比奈正二郎（1965）日本産ゴキブリ類の分類ノートⅢ. ウスヒラタゴキブリ属の種類. 衛生動物 Vol.16.No.1.6-15

朝比奈正二郎（1991）日本産ゴキブリ類. 253pp. 中山書店. 東京

建設省（1994）斐伊川水系の昆虫. 200pp. 建設省中国地方建設局
出雲工事事務所.

菊屋奈良義（1991）九州地方のゴキブリ類の分布状況：予報. 家
屋害虫 Vol.13,No.1.29-39

松田隆嗣（2011）島根県産ゴキブリ目の記録. ホシザキグリーン
財団研究報告. 第14号. 195-200